

平成25年行政事業レビューシート (警察庁)

事業名	ムーブメント信号制御方式による信号制御高度化モデル事業		担当部局庁	交通局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度～平成24年度		担当課室	交通規制課		交通規制課長 和田 昭夫		
会計区分	一般会計		政策・施策名	安全かつ快適な交通の確保 3 道路交通環境の整備				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する計画、 通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	交通渋滞が慢性化している路線の円滑化を図るとともに、CO2排出量の削減など環境に配慮した交通管理の推進に資すると考えられる、新たな信号制御方式であるムーブメント信号制御方式の導入の見通しを立てるため、同方式をモデル事業として実際に整備した上でその効果を検証する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	ムーブメント信号制御方式とは、流入路単位で青時間をコントロールすることにより、交通需要の少ない方向の青時間を削減し、需要の多い方向の青時間に割り当てる信号制御方式であり、無駄青時間の削減(渋滞の解消)とともに、錯綜する動線の回避(交通事故の抑止)が期待できるものである。 平成22年度は8交差点にモデル整備を行い、平成23年度は平成22年度に整備した8交差点に対する効果検証するとともに3交差点の整備を行った。平成24年度では、平成23年度に整備した3交差点について効果検証を実施した。							
実施方法	直接実施	委託・請負	補助	負担	交付	貸付	その他	
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	286	103	7	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	286	103	7	0		
	執行額	284	100	7				
	執行率(%)	99%	97%	100%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	(成果目標) ムーブメント信号制御方式の設置効果測定 (成果指標) 報告書数			成果実績 報告書数	0	1	1	-
				達成度	%	0	100%	100%
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	整備交差点数			活動実績 (当初見込み) 整備交 差点	8 (8)	3 (3)	- (-)	
単位当たり コスト	391,138千円 / 1事業			算出根拠	平成24年度までの総事業費(平成22年度、平成23年度及び平成24年度執行額)			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	計	0						

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			慢性的に交通渋滞が発生している路線に対し、円滑化やCO2削減が期待できる新たな信号制御方式を都道府県警察が導入すべきか否かについて、同方式の開発に当たった国が、本格導入に先立ち効果を検証するものである。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。					
事業の効率性	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			効果測定について、一般競争入札を行い、競争性を確保している。		
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。					
	受益者との負担関係は妥当であるか。					
	単位当たりコストの水準は妥当か。					
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
事業の有効性	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			成果物によっては都道府県警察に配布し、今後の整備等に活用する。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-			
重複排除	活動実績は見込みに見合ったものであるか。					
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。					
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
点検結果	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	1 支出先・使途の把握水準・状況 本事業については、警察庁において契約を行っていることから、支出先・使途を把握している。					
	2 見直しの余地 本事業は、安全で快適な交通環境を実現する施策を検討する上で有効なモデル事業であるが、本信号制御方式については更なるコスト削減に努める必要がある。					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
平成24年公開プロセス対象事業(判定結果:廃止) シート番号16 ムーブメント信号制御方式による信号制御高度化モデル事業 ・既存の信号制御に比べ、非常にコストがかかる割に大きな効果は期待できない。 ・既存の信号制御プログラムの改良で対応すべき。						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	-	平成23年	27	平成24年	16

平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

警察庁
7百万円



[一般競争入札]

A: (株)日本能率
協会総合研究所
7百万円

[調査委託]

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補
足する)
(単位 : 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.(株)日本能率協会総合研究所			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費等	効果測定	7			
計		7	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)日本能率協会総合研究所	調査委託	7	3	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					